

令和5年度みやぎ食の安全安心消費者モニター研修会 開催結果

1	テーマ	食品中の放射性物質、各基準値、検査体制等について
2	主催	宮城県
3	日時	令和5年7月3日（月）13時30分から16時00分まで
4	場所	宮城県行政庁舎2階講堂、後日録画配信（YouTube）
5	参加者	みやぎ食の安全安心消費者モニター 会場受講 57名、動画視聴 71名
6	内容	（1）講演：「食品中の放射性物質、各基準値、検査体制等について」 講師：NPO 法人食の安全と安心を科学する会 理事長 山崎 毅 氏 （2）質疑応答

【主な質疑応答の内容】

【質問1】

食品中のセシウムの基準値について、日本はなぜアメリカや EU と比べて、高い基準を設けているのか。不安を煽ることになっていないか。

【回答1】

現在の基準値を決める際に安心のためにということを大臣は言っていた。国民の不安を煽ることになってしまうことについてはおっしゃる通りだと思う。

【質問2】

長年の接種の積み重ねによって身体への影響がでるのではないか

【回答2】

リスク評価の試験について、毎日一生摂取しても問題ない量を試験している。

【質問3】

世界中の原発で処理水を放水しているとのことだが、具体的にはどこが放出しているか教えてほしい。

【回答3】

今回の資料にはないが、世界中のどこの原発でどのくらい放出しているか世界地図に落とし込まれたものがあり、お見せすることも可能である。（資料については下記をご参照ください）

[参考資料：世界のトリチウム水の放出状況（PDF：384KB）](#)

[参考：環境省 トリチウムの年間処分量～海外との比較～（外部サイトへリンク）](#)